

下仁田ねぎ祭り 2015

歌葉子

トーク&ライブ
PM1:40~2:10

群馬住みます芸人
アンガシミンカン
お笑いライブ
AM10:05~10:30
PM2:15~2:40



巨大ねぎま

に挑戦!

しもにた汁
早食い競争
正午~PM1:00
当日受付先着15名

AM9:45~10:45
PM1:00~2:00
参加者は当日係りに
お申し付けください

お楽しみ抽選会
開催!
ワクワクがいっぱい!
500円以上の
お買物で抽選会に
参加できます。
賞品がなくなり次第
終了となります



ご当地キャラ
大集合!!

AM10:35~11:35

ステージイベント

- ★オープニングセレモニー AM9:00~9:20
- ★荒船太鼓 AM9:25~9:40
- ★馬山保育園鼓笛演奏 AM9:45~10:00
- ★下仁田ねぎ共進会表彰式 AM11:40~正午
- ★下仁田高校吹奏楽部演奏 PM1:10~1:30
- ★閉会式 PM3:45~4:00

※イベント内容は変更になる場合があります。※運行によって
予定時間が若干前後する場合があります。予めご了承ください。

ジオパーク
大地の生んだストーリー
下仁田ジオツアー

所要時間:1時間
出発:ねぎ祭り会場
内容:青岩公園でジオスポットを見学(徒歩)



地元タクシーでらくらく巡る 世界文化遺産・荒船風穴ツアー

コース	所要時間	ツアー基本料金
コース1 風の歴史コース 風穴 & 牧場 お手軽ツアー 会場 → 荒船風穴 (滞在30分) → 神澤牧場 (滞在20分) → 会場 所要時間2時間	2時間	6,000円のところ 4,000円にてご案内
コース2 風と緑のじゅうたんコース 風穴 & 牧場 しっかりツアー 会場 → ふるさとセンター (観覧料:一般100円/高校生以下無料 休園日:毎週月曜日(滞在30分)) → 荒船風穴 (滞在30分) → 神澤牧場 (滞在20分) → 会場 所要時間2時間30分	2時間30分	7,500円のところ 5,500円にてご案内
コース3 風がつくる季節コース 風穴 & 牧場 ダイナミックツアー 会場 → 荒船風穴 (滞在30分) → 神澤牧場 (滞在20分) → 妙蓮山麓辺 (中之瀬神社・さくらの里) (滞在60分) → 会場 所要時間3時間30分	3時間30分	10,500円のところ 8,500円にてご案内

詳しくは当日会場にてスタッフにおたずね下さい。

2015年 11月 22日 日 午前9時 ~ 午後4時

会場 こんにやく手作り体験道場前広場
群馬県甘楽郡下仁田町大字下仁田390-1
主催 下仁田ねぎ祭り実行委員会
共催 下仁田町・甘楽町農業協同組合・下仁田町商工会
後援 上毛新聞社・上毛新聞TRサービス・アサヒビール群馬支社

下仁田ねぎ祭り実行委員会
0274-64-8806 (下仁田町産業観光課内)
URL <http://www.town.shimonita.lg.jp>



ジオパークで
地域に活力を!!

ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館
下仁田町大字青倉158-1
☎70-3070 FAX67-5315
<http://www.shimonita-geopark.jp/>

日本ジオパーク再認定審査が行なわれます。

11月8日(日)・9日(月)に下仁田ジオパークの再認定審査が行なわれます、町民一丸となって、審査員をお出迎えし、下仁田ジオパークをPRしていきましょう!

行事予定 金剛萱遺跡の発掘調査のお知らせ

昨年、大変めずらしい旧石器時代の石斧が見つかった金剛萱山頂の遺跡の発掘調査を行います。

発掘は、小学生でも初めての方も大歓迎です。ぜひご参加ください。

日 程 11月21日(土)～23日(月・祝) (日帰りでの参加もできます)

時 間 9:00～15:00(自然史館に9:00集合です)

持ち物 汚れてもいい服装、長靴、移植ゴテか草抜き、弁当、水筒、タオル、雨具

参加費 大人 500円 子ども(高校生以下) 無料

申込み 11月19日までに、下仁田自然学校へ ☎70-3070 Email nenasi@juno.ocn.ne.jp

行事報告

■各地でPRを行っています

9月19日、壬生パーキング(栃木県)で観光PR活動を行いました。下仁田町では「ねぎ坊」も参加し「ぐんまちゃん」と共に会場を大いに盛り上げてくれました。ジオパークのパンフレットもたくさんの方に配布できました。お客様からは「知らなかった!ぜひ行ってみたい!」という声が多数聞こえてきました。今後のジオパークでの観光客増加が期待できます。

■JGNガイドフォーラムで下仁田をPRしました。

9/15(火)・16(水)に開催されたJGNガイドフォーラム全国大会が開催され、下仁田ジオパークから日本ジオパーク下仁田応援団が参加しました。室内でモニターに映し出されたジオサイトを紹介する「バーチャルジオパーク」やジオパークにおけるガイドのありかたを考える「ガイド分科会」に参加し、下仁田の活動をPRしてきました。

特に全国から9地域のガイドの参加した「バーチャルジオパーク」では、中小坂鉄山研究会にも加盟している石井利子さんがジオツアー「鉄山巡りと古民家カフェ」について紹介し、大勢の観客に中小坂鉄山や下仁田グルメの魅力を発信することができました。



ジオパークテーマ募集結果発表

7月から8月にかけて、下仁田ジオパークの新たなテーマやジオパークを題材にした俳句等を募集したところ、総数215点の応募がありました。10月8日のジオパーク下仁田協議会の厳正な協議の結果、下記のとおり優秀賞が決まりました。たくさんのご応募ありがとうございました。今後のジオパークの推進に活用させていただきます。

テーマ部門(応募総数 151点)

最優秀賞 「日本列島の誕生をひもとく根無し山」

俳句部門(応募総数 64点)

優秀賞 「学び舎 窓から見える ジオパーク」

優秀賞 「翳雲 農夫の背には 根なし山」

優秀賞 「結びあう 人の心に ジオの里」

ネギとコンニャク・ジオパーク

荒船風穴

荒船風穴は、そこで発生する冷風を使用して蚕種を保存した施設です。風穴の冷風は人工的に作られたものではなく、自然が作り出したものです。地形や気象条件など、さまざまな要因が重なって荒船風穴の冷風ができています。自然と暮らしのつながりを実感できますね。

そして、この荒船風穴は、12月から3月まで冬期閉鎖となります。今年荒船風穴に行くことができるのは今がラストチャンスです。この機会に荒船風穴へ足を運んでみるのはいかがでしょうか?

※下仁田町自然史館では、午前9時～午後4時まで展示室を開放しています、ぜひお出かけください。※11月の休館日は2日・16日です

問合せ先 産業観光課 観光振興係(下仁田町自然史館) ☎70-3070

—郷土に輝く盲目の教育者・瀬間福一郎先生—③

里見哲夫

3 盲学校へのところざし (前号からの続き)

1917年(大正6年)40才の時同校の寄宿舎舎監になって指導に当たるが、後藤校長逝去直前に同校の今後を瀬間福一郎先生に託したという。この間に女の子3人が生まれている。3人とも立派な教育者として活躍している。瀬間福一郎先生は指導力もあり、信頼も厚く、盲教育に大きな功績を残した郷土の偉人といえよう。

その功績は群馬県教育史に記述がみられるように立派な盲目の教育者であった。

本年は県立盲学校創立110周年に当たる。この機会に、今まで知られていなかった瀬間福一郎先生の偉大な功績を世にしらしめたいと思うものである。この稿は盲学校に残る資料を参考とさせていただいた。表題を「郷土に輝く盲目の教育者・瀬間福一郎先生」とした。

4 明治時代の背景と盲啞教育

「群馬県教育史」によると、盲啞教育は全国的に遅れていて、本県でも1885年(明治18年)頃、前橋で伊藤詮吉という盲人が自宅で塾を開いて、盲人教育をはじめたのがその始まりで、当時は盲人への理解もとぼしく、教育機関もなく大変であったという。「群馬県教育史」には次のような記述がある。「前橋では盲目の教養を高めなければならないとのことで、前橋南曲輪町の寺などで、「盲目教育会」や「盲講習会」を開いたという。

1890年(明治23年)に県知事の賛成を得て、「上毛盲目衛生研究所」を設け、桐生や藤岡に支部をおいて、全県下の盲人たちに自活の道を開いた。同年伊藤詮吉が同士を募り「上毛訓盲院」を設立したが、経済上の問題や盲教育の無理解から2～3年で廃止となった。高崎では、多野郡新町の医師大久保適斉が鍼術の講習会を開いて子弟の教育に当たっている。

1892年(明治25年)東京盲啞学校を卒業した瀬間福一郎が私塾を開いて盲人教育を始めた。ここでは点字によって一般教養から鍼灸教育を実施、群馬県においての本格的盲教育機関の創始者であると結んでいる。言えば群馬県盲学校の原点である。(次号に続きます)

【季節の花】マメガキ

当地では、このカキをアマンドウと呼んでいます。十一月を迎え霜が降りて、空気が乾いてきますと干ブドウ状になります。

昔は貴重なお菓子がわりで、ブドウガキとも呼びました。

草木に親しんで名前を覚えたものです。



参加者募集 ～楽しく学んで仲間づくり～

140年ぶりに鐵(てつ)づくり

明治7年、「中小坂鐵山」の敷地内で洋式高炉を用いた西洋製鉄が始まりました。

それから140年、下仁田町で製鉄の火を再びということで、たたら製鉄の実験操業を計画いたしました。刀の原料となる玉鋼をつくる実験です。窯を作り、炭を燃やし、河原で採取した砂鉄を投げ込みむ古来の製法です。

日 時 平成27年11月14日(日)

午前9時から午後4時まで(予定)

*見どころは火入れ(9時)と鋳(けら)出し(午後2時頃)期間中いつでも見学できますので、ご自由にご見学ください。

(安全のため、今回は見学のみとさせていただきます)

場 所 下仁田町自然史館
主 催 中小坂鐵山研究会
 日本ジオパーク下仁田応援団
後 援 下仁田町・下仁田町教育委員会

問い合わせ先 下仁田町自然史館
 ☎0274-70-3070

■ジオの日(11月)

清掃美化活動「中之岳周辺」

日 時 11月20日(金)6:30～7:15
 小雨決行

集合場所 中之嶽神社前駐車場
 ポリ袋は用意します。
 作業に適した服装でお出かけください

行 事 案 内 (11月)

11/3(火・祝) 10:00～16:00	下仁田へ行ってんべー祭	祭り会場の駅前中央通りに応援団ブースを出展し、ジオパークのPRをします。	皆様のご来場をお待ちしています。
11/15(日) 8:30～12:00	講座「下仁田の史跡を歩く」	集合場所等は、広報しもにた(10月号)をご覧ください。	皆様のご協力をお願いいたします。
11/21(土) 22(日)	JGN関東地区大会(銚子)	ジオパークの関東大会で下仁田のPRをしてきます	
11/22(日) 9:00～16:00	下仁田ねぎ祭り2015	コンニャク体験道場に応援団ブースを出展し、ジオパークのPRをします。	皆様のご協力をお願いいたします。

下仁田ジオパークの日 (9月20日)

「下仁田ジオパークの日(ジオの日)」制定後、第2回目となる9月20日(日)には、クリッペのすべり面とフェンスター、その周辺などで清掃美化活動を実施しました。

